

様式第6号(第2条関係)

委員会等の会議録

1	会議名	令和5年度第2回愛南町地域公共交通会議及び令和5年度第1回愛南町地域公共交通協議会	
2	議題	(1) あいなんバス一本松地域2路線の再編について (2) 愛南町地域公共交通協議会の令和4年度事業報告について	
3	開催日時	令和5年11月7日(火) 14時00分から15時40分まで	
4	開催場所	愛南町役場本庁2階 第1会議室	
5	傍聴者数	0人	
出席者			
6	委員氏名	愛南町地域公共交通会議(兼協議会) 会長(愛南町副町長) 木原 荘二 宇和島自動車株式会社 業務部 営業課長 田中 勝久 一般社団法人愛媛県バス協会 専務理事 松本 真一 内海地域行政協力員会 会長 木口 壽太郎 御荘地域行政協力員会 会長 増田 智彦 城辺地域行政協力員会 会長 沖野 浩次 一本松地域行政協力員会 会長 土居 尚行 西海地域行政協力員会 会長 福田 久 愛媛運輸支局 輸送・監査部門 首席運輸企画専門官 一色 利彦 愛媛県南予地方局 地域産業振興部 地域政策課 主任 加地 浩美(代理出席) 宇和島自動車労働組合 執行委員 上埜 慎司 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 計画課長 菅 秋行 愛媛県南予地方局 愛南土木事務所 用地管理課長 渡辺 正次 愛南町役場 建設課 課長補佐 楠葉 哲也(代理出席) 愛南警察署 交通課 警部補 宮本 銀次	
7	担当所属	所属名	総務課
		担当職員 (職・氏名)	課長 立花 慶司 係長 山口 昌 会計年度任用職員 吉田 健一
8	その他の出席者	所属名	愛媛運輸支局 輸送・監査部門 運輸企画専門官
		出席者氏名	日浅 遼介

議事内容(次ページから)	
発言者	発言内容
(事務局)山口係長	<p>ただ今から、令和5年度第2回愛南町地域公共交通会議を開催します。なお、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき組織した愛南町地域公共交通協議会についても、設立時の承認事項として本会議と同様の構成員とさせていただいていますので、本日は令和5年度第1回愛南町地域公共交通協議会も兼ねて開催します。</p> <p>本日出席の委員は、代理出席も含めて15名で、委員総数の2分の1以上ですので、この会議が成立していることを御報告します。また、愛南町住民参画推進条例の規定により町の委員会等の会議は原則として一般に公開し、会議終了後は会議録を公開することとなっています。本日の会議につきましても、個人情報等の公開できない情報はありませので、この会議を公開するとともに、会議録の内容については事務局に一任していただくということによろしいでしょうか。</p>
委員一同	(承認)
(事務局)山口係長	ありがとうございます。それでは開会に当たりまして木原会長が御挨拶申し上げます。
木原会長	(開会挨拶)
(事務局)山口係長	<p>始めに会議資料の確認を行います。お手元に次第を表紙とする資料を配布しています。資料の1ページ目と2ページ目に委員名簿と配席図がありますが、出席者の変更がありましたので配席図については先ほど受付で確定分を別途お渡ししています。また、資料1と付されたカラー両面の路線図も追加でお配りしています。それでは、初めて参集しての会議ですので、順番に委員の皆様を御紹介させていただきます。</p> <p>(委員紹介)</p> <p>附属機関の会議の運用の例により、これからの会議の進行を木原会長にお願いします。</p>
木原会長	本日は議長を務めさせていただきますので、どうぞ御協力のほど、よろしく申し上げます。早速、議事(1)「あいなんバス一本松地域2路線の再編」について、事務局の説明をお願いします。

<p>(事務局)山口係長</p>	<p>す。</p> <p>(あいなんバス一本松地域2路線の再編について説明)</p>
<p>木原会長</p>	<p>ただ今、事務局から説明をいただきました。一本松地域限定のローカルな路線ということで、おそらく町内の方でもなかなかイメージが湧きにくいのではないかなと思いつながら聞いていましたが、御意見、御質問がある方はよろしくお願いします。</p>
<p>田中委員</p>	<p>あいなんバスはどの路線も定時定路線で運行されていると思います。現在の一本松地域の路線は非常に細かく回るので、一運行当たりの時間が1時間を超えるという非常に長い時間になっていますが、利用者からの要望として、予約制やデマンド型を求める声は上がっていないのかをお聞きしたいのですが、いかがでしょうか。</p>
<p>(事務局)山口係長</p>	<p>利用者からは寄せられていませんが、一つの方向性としては考慮しています。一本松地域の行政協力員会に参加したときにも、デマンド型なども今後は考え得るという御意見はいただきました。</p>
<p>木原会長</p>	<p>ほかにございませつか。</p>
<p>一色委員</p>	<p>確認ですが、二つの路線を1本にして、1時間以内で移動できるようにということで見直されたということですが、中にはあいなんバスが今まで走っていたけれど走らなくなる地域もあると思います。それについては地域の皆さんの声を聞いて、それを反映して、一定の合意が得られてこのような形になったということによろしいでしょうか。</p> <p>もう一つは、これに関連してバス停を作るとか、標識を建物に付けたりポールを建てるという話がありました。道路管理者との調整はできているという話でしたが、道路を見ると「ここに立っていると危ない」というふうな道路の端というところもあります。フリー乗降であり、あくまで目印なのでそこに立つ必要はないかもしれませんが、バスを待つ間には交通安全に気を付けていただけたらということをお伝えいただけたらと思います。</p>

<p>(事務局)山口係長</p>	<p>再編によりあいなんバスが通らなくなる地域があります。具体的には、中川、満倉、岩水、その3地区についてはあいなんバスが通らなくなります。先般、その説明を利用者や地域住民に直接お伝えするという趣旨で、一本松山村開発センターと東海公民館で住民説明会を開催しました。特に東海公民館で開催したのは、岩水が今後バスが通らなくなる地区ですので、そちらの方の地元で説明をさせていただきました。また、利用状況についても、実績として岩水はある程度利用がありましたが、中川と満倉は宇和島バスも主要道路を通っていることや城辺方面にある程度近いということもあり、あいなんバスの利用が一本松地域の中でも特に低迷していました。そういった利用実績も踏まえて、ある程度、一定数の方が乗られているところを中心に路線を設定しました。また、この後別途説明しますが、町としてタクシー券の助成の見直しも行っています。バスだけで全てを網羅することは現実的に難しいので、タクシー券の拡充も行っている中で、全体的に支援を行っていく形をとっています。また、交通安全の面については御指摘のとおりで、集会所の敷地内は危険性が低いと考えていますが、名路のバス停については、片側は路側帯で広いのですが片側は道路沿いなのである程度スピードを出してくる車もあると考えています。この辺りは利用者への呼び掛けやフリー乗降なのでその近くの広いところで待つようにするとか、乗る側の工夫もできると思っていますので、運転手と連携を取りながら対応していきたいと考えています。</p>
<p>木原会長</p>	<p>ほかには特にございませんか。</p>
<p>一色委員</p>	<p>愛南町はあいなんバスを複数路線で運行しています。先ほどの説明の中で運転手も時間がかかって大変だという話がありましたが、あいなんバスを運営する中で運転手が足りない、厳しい状況であるということはありませんか。</p>
<p>(事務局)山口係長</p>	<p>あいなんバスの運行はタクシー業者で組織する運行組合に委託していて、日頃から組合長とは情報共有をしています。現状では運転手が11人いて、それでシフトを組んでいます。ただし、運転手の高齢化が進み、平均年齢が60歳くらいです。たちまちは問題ないのですが、数年後を見据えたときには不足してくる事態も考えられます。また、自家用有償旅客運送の制度上、二</p>

	<p>種免許がなくても指定された講習を受ければ運転できるということになっていますので、そういった制度も活用しながら、二種免許がなくてもやる気のある方であれば講習を受講していただくという形で運転手を確保していきたいと考えています。</p>
木原会長	<p>あいなんバスの運転手は、タクシーの運転手とは別であいなんバス専属の運転手ということですか。</p>
(事務局)山口係長	<p>基本的にはあいなんバス専属の運転手です。</p>
木原会長	<p>ほかには特にございませつか。</p>
宮本委員	<p>廃止するバス停の事前広報は説明会以外に、例えば廃止するバス停自体に「いつ廃止します」というような広報はありますか。</p>
(事務局)山口係長	<p>現時点では、住民説明会にお越しいただいた方はこういう方向性で調整が進んでいるということが分かっていると思いますが、この話に関与していない方はまだ知らない方も当然おられます。広報あいなん2月号が1月末から2月上旬にかけて町内に配布されることに合わせて新規の路線図と時刻表を配布し、決定事項としてお知らせします。あいなんバスの乗降調査をした際にも城辺・御荘方面の方が一本松方面に行くためにあいなんバスを利用していましたので、一本松地域だけお知らせするのではなく町内全域に確定分を広報したいと考えています。</p>
木原会長	<p>ほかには特にございませつか。一本松地域ということで、これまでにも土居委員には何度も御意見や知見等をいただいてまいりましたが、特にございませつか。</p>
土居委員	<p>説明会もしていただいたが、100パーセントというのは難しいので、その中で知恵を出していただいて大体出た意見を網羅するような路線を組んでいただいたので、是非この路線でやってみて、またその次のことはそこで協議すれば良いというのが皆さんの意見なので、是非この運行でやっていただきたいと思ついます。</p>

木原会長	<p>ありがとうございます。土居委員におっしゃっていただいたように、合併直後から運行し始めていろいろな御意見をいただきながらもこれまで路線変更をできずに長年の懸案でありましたが、ようやく新たな展開というか、一步を踏み出してみようということで、一本松地域の方々の大きな御理解をいただいて新たな路線を組むという流れになっています。まずはやってみて、いろいろな御意見があればまた改善するという方向で考えていきたいと思っておりますので、御理解のほどよろしく申し上げます。</p> <p>ほかには特にございませんか。御意見等ないようでしたら、議事(1)「あいなんバス一本松地域2路線の再編」について、お諮りさせていただきます。原案のとおり承認するということがよろしいでしょうか。</p>
委員一同	(承認)
木原会長	<p>ありがとうございました。続きまして、議事(2)「愛南町地域公共交通協議会の令和4年度事業報告」について、事務局の説明をお願いします。</p>
(事務局)山口係長	(愛南町地域公共交通協議会の令和4年度事業報告について説明)
木原会長	<p>ただ今、協議会としての収支決算等についての報告をいただきました。これについて御意見、御質問のある方はお願いします。特にございませんか。精算を終了し、現在は残高ゼロということになっているということで、特に御質問はございませんか。それと、先ほど事務局が説明した任期についてはいかがですか。</p>
(事務局)山口係長	<p>この協議会の任期が2年になっていますが、本体の会議の方の任期が1年ですので、全て1年で統一させていただいて、委嘱手続を一度に済ませられる形にさせていただきたいと考えています。</p>
木原会長	<p>1年にするということですね。合わせて今事務局が説明した任期を1年に改正するというのと収支決算等についてお諮りします。原案のとおり承認するということがよろしいでしょう</p>

	か。
委員一同	(承認)
木原会長	ありがとうございました。以上で審議につきましては終了させていただきます。続きまして、報告・協議事項として、議題(1)「あいなんバスの運賃」について、事務局から説明をお願いします。
(事務局)山口係長	(あいなんバスの運賃について説明)
木原会長	ただ今、あいなんバスの運賃についての説明と現在の状況等の説明をいただきました。意図するところは、委員の皆様には現状をお知らせしてこれからどういうあり方、減免等をするべきなのか、値段を少し考えるべきなのかといった御意見をいただきたいという事務局の思いがあるのかと思っておりますが、皆さんそれぞれ御意見等ございましたらお願いします。
一色委員	愛南町のあいなんバスは、距離が長くてどこまで行っても100円ということで、それを聞くと個人的に安いなと思っているところです。17ページの県内各市町の表があり、そこで100円、200円といろいろありますが、愛南町としてはこのコミバスでもうけるというのは当然ないと思います。住民福祉の観点からこのようにされていて、その水準についても安い方だと私は思いますので、これで町の財政も含めてやっていける、運転手の問題も含めてやっていけるということであれば、それは続けていただくというのは住民にとっても良いことではないかなと思っています。
木原会長	貴重な御意見をいただきありがとうございます。ほかにございませんか。
福田委員	ずっとやっていけるのでしょうか。
木原会長	以前には「もう少し値上げをしてみても」という話を議会でいただいたことを記憶しています。ただ、最近は高齢者を無料にしてみてもという意見が出ています。それは、答弁する側と

	<p>しては町内全域にあいなんバスが行き届いているのであればそういうふうにするのも負担の公平からできるかもしれませんが、ある特定の地域にしかあいなんバスが運行されていないのに、またその地域の方に対して無料化することによって他の地域からの不公平感の増大につながることも考えられ、町としては全体最適の観点から考えないといけないということもあり、今は 100 円で十分安価な金額だという話はしています。それが現状ですが、福浦の方々、利用者の御意見はどのような感じですか。</p>
<p>福田委員</p>	<p>まあ有り難いことです。それで続くのでしょうか。</p>
<p>土居委員</p>	<p>水道と一緒に、末端に家があって途中がなくなっても維持しないといけません。これと一緒に、運行する途中の人口が減るのは間違いないし、利用者は少なくなるけれど経費は増大するのははっきり分かっています。利用者にとっては、100 円が仮にもう少し上がってもそれほど不満はないでしょう。利用者は今の世の中の状況で何でも高くなっている時代に「これを少し上げます」と言っても抵抗はないと思います。</p>
<p>福田委員</p>	<p>無料にしたらかえって乗りにくいということでしょうか。</p>
<p>土居委員</p>	<p>一本松地域でコミュニティバスが始まって、その時から 100 円なので、随分長いです。</p>
<p>木原会長</p>	<p>ほかにはございませんか。あくまでこれは御意見ということで、公共交通会議ではこういう意見があったということで話をさせていただく機会があるかもしれませんので、それぞれお考えがございましたらお聞かせいただければ幸いです。</p>
<p>上埜委員</p>	<p>労働者という立場で意見を聞かせていただけたらなと思います。冒頭、会長の方からも運転手不足とか、そういった観点から今後は懸念されるというような状況の話がありましたけれども、当社でも運転手不足という観点は否めない状況にあり、実情、運転手の数が限られていて、自治体から委託を受けている路線については止めるわけにはいかないのです、その部分に関しては公休出勤などで補っている状況です。当然、違反をするような状況ではないわけですが、それも限界に近付いて</p>

	<p>きているのではないかなというところがあります。先ほど、あいなんバスの運転手が 11 名で運行しているということを知ったのですが、運賃が 100 円というのは、当然住民にとっては有り難いことですし、町に余裕があるのであれば 100 円を維持していければ良いと思いますが、労働者の対価を削ることになると、それは話が違ってくると思います。労働者の立場で言うと、運転手の給料がいくらだとかそういうことが伝わってこないで、時給換算にして愛媛県の最低賃金を割っているようなことがあれば問題ではないかなと思うので、そういうところをもし聞かせていただければと思います。</p>
<p>(事務局)山口係長</p>	<p>運行に関しましては、運行組合の方に業務を委託しているという形になりますので、実際に運転手を雇用しているのは運行組合であり、町から直接給与を支払っているわけではありません。先ほどの労働者の面からということで、同じような話は運行組合の方からもいただいています。運転手の年齢が上がってきて次の世代の方を雇っていかねばならないときに、やはりある程度対価の面でも納得して就労していただける状況がないと次のなり手も不足してくるということで、令和 4 年度から西海地域の 2 路線、武者泊線と外泊線、それから久良線をあいなんバスの運行路線として宇和島自動車から移管を受けたときに、その辺りも協議して、路線が増えることに合わせて待遇面も見直さないといけないという話を運行組合として、そこで改善というか委託料の見直しを行いました。それが果たして今の時点で本当に十分なのかどうなのかということは改めて運行組合と話をさせていただこうと思います。令和 4 年度から移る時に、その前の令和 3 年度にそういった声をいただいて反映したという形になります。</p>
<p>土居委員</p>	<p>令和 4 年度の運行組合への委託費と、運賃収入はいくらですか。</p>
<p>(事務局)山口係長</p>	<p>委託料は 8 路線で約 5,800 万円。運賃収入は年間約 500 万円です。あいなんバスは年間で延べ約 6 万人が利用しています。</p>
<p>土居委員</p>	<p>500 万円の収入で、5,800 万円かけて運行しているということ、少しずつ利用者に知らせるようにしたら良いと思います。利用者から「もう少し運賃を出しても良いのではないかな」とい</p>

	<p>うような雰囲気作りをした方が良いと思います。</p>
木原会長	<p>これが実情です。ほかにはございませんか。なければ、以上でこの議題については終了させていただきまして、次は議題(2)「あいなんバスのバス停(標識)の移設検討」について、事務局から説明をお願いします。</p>
(事務局)山口係長	<p>(あいなんバスのバス停(標識)の移設検討について説明)</p>
木原会長	<p>改善案は見いだせられないということで現状の報告させていただきましたが、何か御意見があればお聞かせいただきたいのですが。</p>
増田委員	<p>4番の案でやるということですか。</p>
(事務局)山口係長	<p>4番の案は誤解を招くおそれがあり、また帰りのバスは逆側でバスを待つ形になるので、バスが来たときに焦って道を横断するということになり難しいと考えています。1番から5番まで全て検討しましたが、それぞれ課題が多いというのが現状です。</p>
増田委員	<p>2番の案は現職の時に先ほどの死亡事故があり、大分事故がありました。会議をした覚えがありますが、バス停が廃止になったところで当時から道路は変わりましたが、事故が少なくなったとは感じていません。2番はそういう場所ということを報告します。</p>
福田委員	<p>距離があるとは言うけれど、荷物がありますからね。距離的にはそれほどあるとは思いませんが。めったに来ないのにお年寄りがまとめて買ったとなれば、ちょっと遠いでしょうか。(スーパーの)カートでも使ったら良いのではないのでしょうか。</p>
木原会長	<p>通ってみると、たまに現状のバス停のところにカートが置いたままになっています。フジの利用者が持って行って置いているのではないかと思います。</p>
福田委員	<p>そちらの方を考えたらいいと思います。今の所が一番良いと</p>

	<p>思います。</p>
<p>木原会長</p>	<p>民地でありお店を始めたので、お店の店先に人がたまるというのが問題になっています。</p>
<p>立花委員</p>	<p>この議題をこの会に上げさせていただいたのは、「一年を通してバス停を移設できないか」「フジの前にバス停を設けるべきではないか」という声がかなりの件数、総務課に寄せられているからです。その声に対しては丁寧な説明に努めていますが、場合によっては現地で説明してほしいという声も寄せられています。現状、宇和島自動車とも情報共有しながら、宇和島自動車にも尽力いただき、フジから距離はありますが何とか民地の所有者の方の理解を得てバス停の設置ができています。当初は「バス利用者のマナーが悪いのでどうにかしてもらえないか」ということで所有者からの相談を受け、宇和島自動車も真摯に迅速に対応していただいて、現時点ではバス利用者のマナーに対して地権者からの相談は寄せられていない状況ですので、ある程度理解をいただきながらバス停を利用していただいています。ただ、フジのカードが置いたままになっているという実態もあるので、フジの方で回収に回っているということで、フジの方にも一定程度御協力をいただいているという現状で、バス停を利用いただいています。また、フジの店長からは「フジとしても極力、バス利用者の満足度を高めるために協力ができる」という声はいただいています。先ほど担当が申しましたように安全運行が第一ですので、なかなか利用者の声に満足な回答ができないという現状であります。</p>
<p>木原会長</p>	<p>いかんともしがたい状態にあるということをお報告させていただきたいと思います。</p>
<p>土居委員</p>	<p>1か所のバス停で利用者が多いからといってベンチなど休む所を作ると、「あそこに作ったのになぜうちにはできないのか」という意見が必ず出ます。100円でやるので、無理なら「無理です」と言い切らないといけません。</p>
<p>木原会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは続きまして、議題(3)「小型ノンステップバスの試走結果」について、事務局から説明をお願いします。</p>

<p>(事務局)山口係長</p>	<p>(小型ノンステップバスの試走結果について説明)</p>
<p>木原会長</p>	<p>小型ノンステップバスの試走結果について報告いただきましたが、今の報告を聞いて、何か御意見、御質問がある方はおられますか。</p>
<p>土居委員</p>	<p>外泊線などは(乗客が)立って乗ることがありますか。</p>
<p>(事務局)山口係長</p>	<p>立って乗ることはないです。あいなんバスは座席が運転席を含めて25席で立席はないので、全員座って乗っています。正規の座席が19で補助席が5です。武者泊線と外泊線で時々定員ぎりぎりということはあるのですが、現時点で立つという状況は発生していません。</p>
<p>松本委員</p>	<p>私はバス協会の前に伊予鉄南予バス、八幡浜の方で社長を5年していました。この近くでいうと、大洲市の「ぐるりんおおず」にこのポンチョが走っています。伊予鉄出身なので、松前町の「ひまわりバス」もポンチョが走っています。大洲の方も一周1時間くらいかかるのですが、やはり都市型のコミュニティバスなので、1便当たり20人くらい乗るのですけれど、乗客は入れ替わりなので、1時間ずっと立っているというのは高齢者はかなりしんどいところがあるのかなと思います。乗り降りは非常に楽だということで、実際、もう少し傾くので20cmちょっとくらいだと思うのですが。お年寄りからすると好評で、松山市内なども市内電車、低床の電車に乗りたいという方がかなり多く、声があります。ノンステップバスというのは良いとは思いますが、一本松からもそうですが武者泊から1時間近く立っているのは、高齢者にはしんどいかなと思います。</p>
<p>木原会長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>上埜委員</p>	<p>運転手の観点から言わせていただきますと、低床バスというのは、確かにお客さんが乗降に対してはすごく楽なのですけれども、運転手からすると、先ほどバス協会の松本さんが言われたようにポンチョというようなバスは都市型の循環バスであって田舎の道にはそぐわないかなと思います。現状、当社でも低</p>

	<p>床バスで宿毛宇和島間などを走っていますけれども、やはりクッションのストロークが短いし、タイヤも現状のトラックより全然薄くなっているんで、クッション、段差の吸収率が悪く、何年か前にも路面が悪くフロントガラスにひびが入りました。国道ですけれどもそういうような状況もあるので、西海線とか中浦線とか外泊線などでそれほどスピードは出していないかもしれませんが、実情、宇和島自動車は路線を持っていた時に走っている状況で、ポンチョが果たして武者泊線や檜月線に使えるかといったら、(車体の)下が当たったりなかなか難しいのではないかなと思います。バスは車高調整ができて、徐行状態であれば車高を上げることもできるので、上げた状態で運行できなくはありませんが、それは徐行状態という限定が付くので、果たしてこのバスがローカル線に、あいなんバスが持っている路線に使えるのかどうかです。試走をしたところが敦盛とか比較的まだ広い道路だったので、もし導入するのであれば全部の路線に使用してみないと分からないのではないかなと思いました。</p>
<p>木原会長</p>	<p>経験者お二人から貴重な御意見ありがとうございます。ほかございませんか。</p>
<p>立花課長</p>	<p>この議題をこの会で報告した経緯ですが、町議会に総務文教常任委員会という会があり、昨年度、愛南町の地域公共交通に関する研究を行いました。総務文教常任委員会の報告の中で、「愛南町において低床型バスの導入を検討すること」という報告内容がありました。その報告を受けまして、先ほど担当が申しましたように、愛南町で本当に低床型バスの運行は可能なのか、物理的に可能なのか、有益と考えられるのかどうかということで、10月上旬に低床型バスを借り上げて町内の複数路線を試走しました。おおむねあいなんバスが走っている路線については、バスを走らせることができるという意見は運転手からいただきましたが、それが実際に乗客を乗せて安全運行ができるのかについては疑問が残っている状況でした。この会で専門家の方々からいただいた意見などを踏まえまして、最終的に町が低床型バスの導入についてどう考えるのか、近々議会側に回答したいと思っていますので、この会で案件を提示させていただきました。</p>
<p>木原会長</p>	<p>ほかに御意見等ございませんか。ないようでしたら、(4)「夕</p>

<p>(事務局)山口係長</p>	<p>タクシー利用助成事業」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>木原会長</p>	<p>(タクシー利用助成事業について説明)</p> <p>タクシー利用助成事業の拡充によって利用者が倍増しているという状況の報告をさせていただきました。この件について御意見、御質問のある方はお願いします。特にございませんか。ないようでしたら、全体、特に地域公共交通に関して何か御意見等ございましたらよろしくお願いします。</p>
<p>田中委員</p>	<p>今回の議題からは離れるのですが、冒頭の木原会長の挨拶にもありましたように、伊予鉄さんの減便の話などありましたけれど、2週間ほど前の新聞にも当社の状況なども出てまして、運転手の確保に対しては本当に相当厳しい状況です。ただ、当社が生活交通路線を廃止、減便していないのは、当社の事業で貸切バス事業や高速バス事業がありますので、そちらの運転手を減らして路線バスの方に充てているというのが現状です。ちょっと言葉は悪いかもしれませんが、生活交通バス路線は、各市町から赤字の補填をいただきながら運行しています。だから、欠損が良くてゼロなのですよね。ただ、会社としては貸切バスや高速バスを運行して黒字部分を作らないと、会社としてのメリットは全くない状況なのですが、とはいえ生活交通の方の必要性というか大切さを会社として考えてそういうふうにしていきます。高速バスについても、もともと城辺発着で大阪行きの夜行便を運行していましたが、それがコロナになって以降ずっと運休状態です。特にこの愛南地域の方には、もともと城辺営業所から大阪に行くのに乗っていたものが今運行していないので、非常に御不便をかけています。夜行便で運行する場合、3日間の行程に運転手が二人ついているので、運転手が6人必要です。今動かしているお昼の昼行便というのを、宇和島発着で動かしていますが、それは運転手一人のワンマン運行で、2日間で大阪に行って帰ってくるものです。夜行便の方が3倍くらい人が必要です。その一人二人を確保するために高速バスを止めたりしています。貸切バスは、忙しいピーク時には全く貸切の人が足りない状況なのですが、車の台数を減らせてそこの運転士を抑えて路線の方に充てているという現状で</p>

	<p>す。今度、来年の4月から自動車の運転者の労働時間の問題とか国の方の制度が変わりますので、そこでまた今よりも拘束時間の問題や一日の仕事から翌日の仕事までの時間の問題など、ちょっと厳しくなるので、そうなるとう更に人が必要になってきます。運転手になる人の労働条件の見直しというのも当然必要だと思ふのですけれども、現状より人手が必要になるというのが今度の4月の法改正になっています。当社の今の状況でぎりぎり法をクリアした形で運行できるかなと思ふます。ただ、当然、在席している運転士も自己都合で退職する者などもあるので、たちまち一人辞めるともう人が足りなくなってくるというような、本当に綱渡りの状況であるということをおこの場を借りて報告させていただきます。</p>
<p>木原会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。相当厳しいということおです。町ももともと全ての路線が宇和島自動車にお世話になっていたのが、あれよあれよという間に支線は全てあいなんバスに切り替わり、今や幹線の宿毛城辺宇和島の路線のみ宇和島自動車にお世話になっているという状況おですが、例えばその16往復の減便は今後考えられたりしますか。</p>
<p>田中委員</p>	<p>現時点ではまだそこは考えてはいません。今のまま、全ての路線を現状のまま維持するというのは難しいと思ふます。城辺宿毛線以外も含めておですが、当社の方で先月から来月にかけて3か月くらいにわたって利用状況の調査をしています。そこで「このような遅い時間にバスが必要なのか」とか「朝早い時間に必要なのか」とか、その辺りを精査した上で、減便を含めたダイヤ改正は検討していく予定おです。そのときには関係する市町には事前相談し、協議させていただきます。</p>
<p>木原会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。ほかには何かございませんか。</p>
<p>土居委員</p>	<p>一本松の区長会の際に「デマンドを検討してみたら」という意見が出ましたが、かといって区長は誰もバスを使っておいません。今の高齡のバス利用者がデマンドを利用できるかというおそうではないと思ふますが、今の流れからすると、将来を見越してこれほど路線を維持するよりもデマンドで良いならデマンドでおと、今後の問題として検討というおか研究すべきではないか</p>

	<p>と思います。</p>
立花課長	<p>デマンドを運行している地域もあれば、思ったように運行できなくて中止したという町もあり、近隣でも同様のケースがあるみたいです。アンテナを高く持って情報を仕入れながら、一つの手段として考えていきたいと思っています。</p>
木原会長	<p>タクシー業者が旧5町村全てに7業者残っています。本当に頼りはそこなので、タクシーが究極のデマンドだと思っています。タクシーに少しずつ助成しながらでも、デマンドという形を残してもらわないと、もしタクシー業者が撤退をし始めると愛南町の公共交通は成り立たなくなるので、そこと良好な関係を築きながらまた新たな展開ができれば良いと思っています。</p>
土居委員	<p>一本松地域は路線の距離が長いのに利用者が少ないです。一本松地域にはタクシー業者があるので、デマンドがかえって利用しやすくなるのではないかなという気がします。</p>
木原会長	<p>定時運行に魅力を感じる方もいて、電話して来てもらうというのに抵抗があったりとか、難しい面もあります。過渡期というか、転換期にあるので、考えていかなければならないと思います。</p>
一色委員	<p>先ほどからバス会社からも厳しいという話があり、鉄道も厳しい状況です。先ほど言われたように100円稼ぐのにすごくお金がかかっているということで、地域の交通をどうするのかということが愛南町だけではなく全体的な課題になっています。その中で、バスがなくなったからタクシーでとか、タクシーもなくなったら自家用有償運送でとかいろいろありますが、そういうながらタクシー会社も運転手がいなくて、高齢化が進んでいてあと10年20年、どこまでいけるのかという状況になっているということもあって、国土交通省の方でも基本的にはバスとかタクシーといった事業用の緑ナンバーの皆さんでやってもらいたいのですが、免許の関係もありますし、そもそも車の一種免許を持つ若い方も減ってきています。緑ナンバーを運転するには二種免許が要るので、更にハードルが高く、維持していくのが難しいということもあって、最近話題になっているライドシェアなど自家用車でやるという話も出てきています。と</p>

	<p>はいえ、二種免許を取るには一種免許で経験を積んだ方とか要件もありますし、運送事業の許可ということで一定のルールを守っていただくというのがあるので、安心感が違うのかなとは思いますが。それと、維持できない部分が出てきているので、自家用有償旅客運送、あいなんバスもそうですけれども、それとタクシーやバスとうまくやっていける仕組みを考えるとということで、ラストワンマイルモビリティということで検討会をして、正に愛南町のケースだと思いますが、タクシーと自家用有償旅客運送が協力してやっていけるように更にそれを発展させた形でもう少し柔軟にできるように、事業者協力型の有償運送とか、他の地域では地域住民主体の取組もあり車両管理も自分たちですとか、負担であればタクシー会社に協力してもらおうとか、そういった新しい制度も愛南町で使えるものがあれば使っただけだと思いますので、今後そういう動きも情報提供させていただきます。</p>
木原会長	<p>ありがとうございます。ほかにはございませんか。</p>
宮本委員	<p>宇和島バスと役場の方に話をさせていただきましたが、移設の関係で話がなかったので、日土峠バス停の関係で動きがあれば教えてください。</p>
(事務局)山口係長	<p>日土峠バス停については、愛南警察署の方に問合せがあっ、こちらでもお聞きしています。その状況は把握していますが、今のところ運転手からは危険だという報告は受けていないので、運行組合や運転手と情報共有しながら、日土峠に限らず危険だというバス停については対応していきたいと考えています。</p>
木原会長	<p>ほかには何かございませんか。ないようでしたら、以上で本日の全日程を終了させていただきます。長時間にわたり貴重な御意見をいただき、本当にありがとうございました。お疲さまでした。</p>